

Generative AI Cloud 2602 リリースノート

1. はじめに

Generative AI Cloud 2602 リリースノートです。

1.1. リリース日

- ・ 2026/2/27

2. リリース内容

2.1. 新機能

- ・ 管理ポータルへのログイン後に各種お知らせを表示するようになりました。詳細は「管理ポータル操作ガイド（基本操作編）」を参照ください。

2.2. 機能強化

- ・ チャット画面において「検索で使う文書数」の設定を追加しました。「文書検索を利用」の設定を有効化した場合に本設定が利用ができます。詳細は「チャット画面利用ガイド」を参照ください。
- ・ 管理ポータルのテンプレート画面において、テンプレートIDでテンプレートを検索できるようになりました。
- ・ ベクトルDB管理APIに以下の機能を追加しました。詳細は「ベクトルDB管理APIチュートリアル」を参照ください。
 - 登録した文書情報をメタ情報で条件指定して取得
 - インデックス使用量（テナント合計・インデックス別）を取得
 - 登録した文書情報を一括削除
- ・ 機微情報の秘匿化APIのプレビュー版提供を再開しました。詳細は「機微情報の秘匿化APIチュートリアル [プレビュー版]」を参照ください。

2.3. 不具合修正

特にありません。

3. 注意事項

- ・ ベクトルDB管理APIで新たに追加した機能に以下の注意事項がありますので、確認のうえご利用ください。

- 。インデックス使用量取得API (GET /document/size/{index_name}) が返却する使用量は、内部計算による概算値です。チャンク内容 (トークン数) の偏り等により、実際の使用量と乖離する場合があります。容量逼迫の判断は、管理ポータル「利用状況」に表示される全体の使用容量 (正確値) を基準にしてください。
- 。非同期文書削除 (POST /document/deleteDocumentAsync) の処理中に、リクエスト時のメタデータフィルタ条件に一致する文書を登録すると、削除後の残存件数として扱われ、結果情報の失敗件数に計上される場合があります。再登録は削除完了後に実施してください。
- 。非同期文書削除API (POST /document/deleteDocumentAsync) では、metadataAnyFilters を指定しない場合、削除対象が絞り込まれず、対象インデックスに登録されている文書がすべて削除されます。全件削除が目的でない場合は、metadataAnyFiltersを必ず指定し、削除対象を明示したうえで実行してください。